

関空・紀淡・四国高速交通インフラの早期実現

現状

- ・「紀淡海峡ルート」の実現に向けた調査（H19 で打ち切り）
- ・「紀淡連絡道路」は地域高規格道路の候補路線（H6 指定）
- ・「四国新幹線（大阪-徳島-高松-松山-大分）」は基本計画（S48 告示）
- ・「関空・紀淡・四国高速交通インフラ期成協議会」設立（H25.9）

整備の意義

- ① 第2国土軸としての国全体のリダンダンシーの確保
- ② 西日本の大動脈の代替機能を有する四国新幹線の実現
- ③ 関西国際空港の機能強化につながる関西国際空港と大阪都心を結ぶ
超高速超高速鉄道の早期整備
- ④ 関西大環状道路、大阪湾環状道路の実現

これらの要となるのが、
『紀淡海峡ルートの実現』

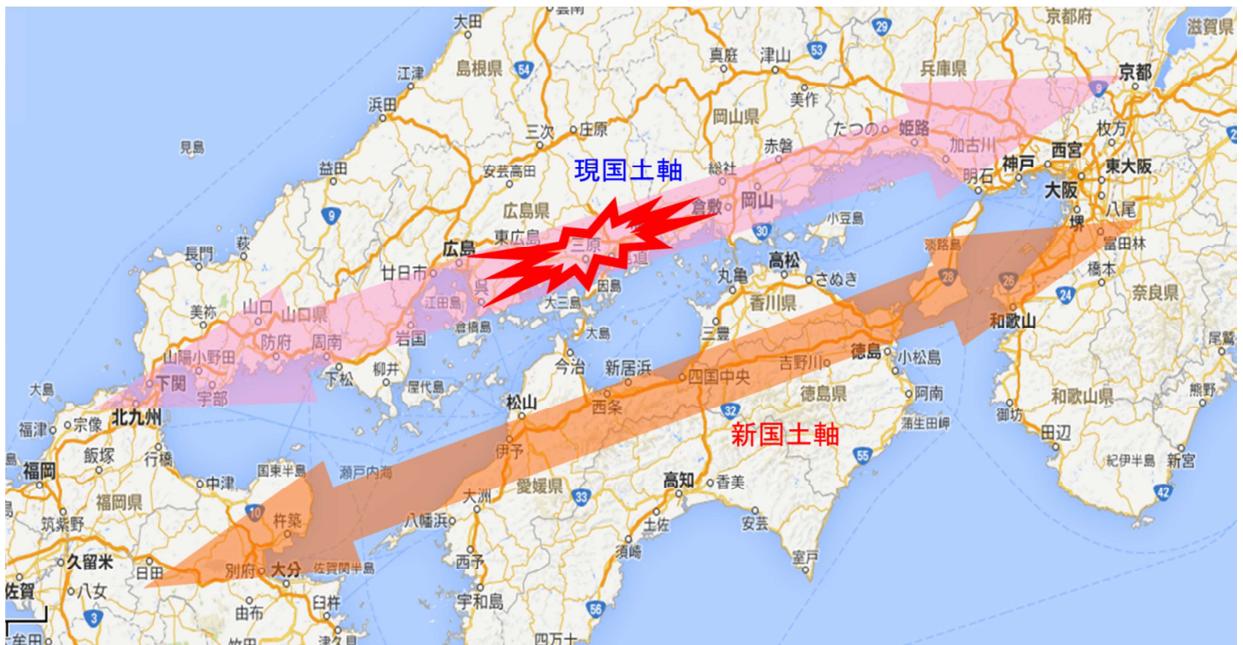
具体的な措置

- 1 大阪都心と関空を結ぶ高速交通アクセスの早期整備、紀淡海峡ルート及び四国新幹線の実現のため、四国新幹線を整備計画に格上げし、その中に関空及び紀淡海峡ルートを位置付けること
- 2 紀淡海峡ルートの早期実現につながる調査を再開すること
- 3 地域高規格道路の候補路線である紀淡連絡道路を計画路線に格上げすること

●関空・紀淡・四国高速交通インフラ



●西日本におけるリダンダンシーの確保



※西日本は山陽道に機能集中しており、リダンダンシーの確保が必要